

第 57 回企画展

岩手の郷土食

～粒食・粉食に使われた道具～



平成 25 年 7 月 7 日 (日) ～9 月 29 日 (日)

岩手県立農業ふれあい公園
農業科学博物館

人間が生きていく上で、衣・食・住は重要にして欠く事の出来ない、物的基本条件だと言われています。そのため人類は遠い太古の時代から「食物の確保」のため、色々知恵を出し苦勞を重ねてきました。

自然物の採取から栽培への取り組み、地域外産物との交換へと進化しました。食物は単に物量だけでなく、栄養価や嗜好性、経済性により選択の幅があり、調理や加工、さらに食器、食習慣、飲食作法など、生活全般にまで繋がる食の文化として発達してきました。

今回の企画展では、穀類の米・小麦を主体に「粒食」や「粉食」に使用された昔の農具や食事づくりの道具を通じて先人の知恵と食文化の伝承について学ぶ場としたいと思います。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊3-110 TEL:0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

入館料／一般290円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台